

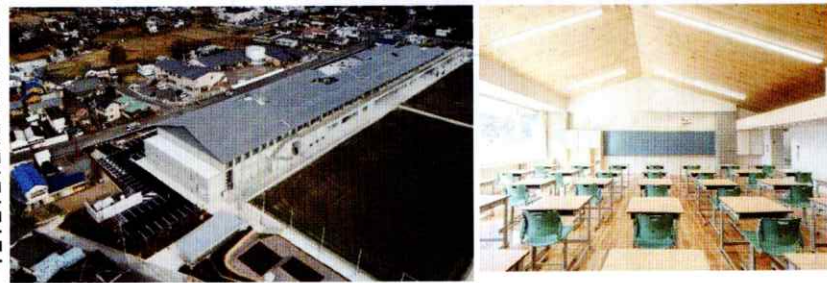
こどもたちの未来 伊豆中学校開校

令和4年1月から始まった工事も無事完了し、4月からは修善寺、天城そして中伊豆の3地区の生徒たちが伊豆中学校という真新しい学び舎に集い、日々切磋琢磨しながら人生の基盤を築く大切な3年間を共に過ごす場となります。

校内は伊豆市産材も使用しふる里のぬくもりを感じながらも、1階に配置された図書メディアセンターなどデジタル教育を進めるための先端的な施設の中で、生徒自ら考え行動する力を育む、そんな環境が整えられました。

さらに下校時間を4時30分としたことで、部活動や放課後の時間の使い方など家庭や地域との連携が重要になってきます。

これを受け令和7年度からの新規事業として通学だけでなく土肥小中一貫校との部活動連携のための移動や休日にも利用を可能としたバスの「エリア定期券」を導入し、生徒が日常的に市内をバスを使って移動することで、ふる里を知り地域とのつながりを感じられる機会の創出など、伊豆市で育つ子どもたちの未来を見据えた新たな学びが始まろうとしています。子育て全力宣言の伊豆市、未来を拓いていく子ども達を全力で応援していきましょう！



私たちの住む、まちのこれからを考える！

私たちの先祖は、温泉や景観を活かした観光や伊豆市の気候に合った山葵や椎茸などの作物栽培を私たち子孫に残してくれました。私たちは、未来に何を残せるでしょうか。まちの将来を自分事としてとらえ、積極的にまちづくりにかかわることが、私たちの住むまちの幸せな未来につながっていると思っています。

伊豆市の玄関口修善寺駅周辺、伊豆縦貫道天城峠道路の中間インターチェンジ接続が計画されている茅野地区、伊豆半島を代表する観光地修善寺温泉場で、景観や自然と調和した住環境の整備、賑わいの創出など将来のまちのあり方について、住民や近隣事業者による活発な話し合いが

行われています。

茅野地区では、ジオサイト鉢窪山の遊歩道整備や一人暮らしの老人宅の清掃を行う『お助け隊力ヤノ』、日本の棚田百選に選ばれた『茅野の棚田』での、都市住民や大学生との交流事業、未耕作農地での無農薬栽培や虫の養殖、農道の整備を行う『与市坂 悠々の郷づくり』など大学生の提案も取り入れながら、積極的に地域の課題解決に取り組んでいます。



修善寺温泉場



茅野の棚田